



M6.3の地震 絶望の光景

2023年10月7日、大きな地震がアフガニスタンの村々を襲い、砂埃とともに、視界に入るすべて建物が崩れました。家族を心配して立ち尽くす人々よりも背が高いものは、たった1基の重機だけ。目を疑うほどの光景でした。

この地震で1,500人以上が亡くなりました。そのほとんどが女性と幼い子どもたちです。地域一帯が深い悲しみに包まれました。



心休まらないテント生活

家を失った約30,000の家族は、地震から9か月経った今も、布やトタンなどをつなぎ合わせた「家」とは呼び難い環境で暮らしています。

ここは洪水が多く、冬は気温が氷点下にもなる地域です。毛布は家の壁や屋根になっているため、このまま冬が来れば、人々は身を寄せ合って寒さに耐えるしかありません。洪水の不安もあり、心が休まらない生活です。



惨状の中に見つけた希望

私たちは、地震で被災した方々に食料と生活物資を配付し、村々を訪問してきました。その中で、子どもたちにも話を聞いたところ、家族を支えたい、村の人々のためになりたいという健全な夢に出会いました。

子どもたちの前向きな姿勢は村の人々にとって希望の光です。彼らの命と夢を守りたい。それが村人の、そして私たちの目標になりました。



人々の手で復興していくために

私たちADRAは、村の人々との話し合い、支援活動を準備しています。

まずは安心して暮らせる家を建てることです。そして、村の防災力の向上を図るため防災教育に取り組みます。地震で水源を失ってしまった村の水道整備と衛生啓発も必要性が高い活動となっています。

耐震性のある家をアフガニスタンに

命と夢を守る 村再建に向けて

A面 震災後の現状と復興計画編

ご支援のお願い

アフガニスタンへの支援は年々減少しています。そんな中、ADRAのネットワークを通して日本から支援が届けられることは、現地の人々にとって大きな希望につながります。

まずは家の再建と防災教育を進め、地震によって被災した村の復興をサポートできるよう、温かいご支援をお願いいたします。

クレジット決済または銀行振り込みの方はQRからお手続きください

郵便振替の方は郵便局にある青色の用紙をお使いください

※記入項目は反対面をご参照ください

ADRA Japanへのご寄付は寄付金控除の対象となります。

広げて反対側に折り返すと、子どもたちの夢編をお読みいただけます

防災力向上

災害が多いこの地域では、災害は避けたくても避けられないことがあります。しかし備えていれば、いざというときに命を守る行動をとることができます。

多くの大切な命が失われてしまう惨状をできるかぎり繰り返さないですむように、村のリーダー等への研修から取り組み、防災知識の啓発や何か起きてしまったときに助け合える地域の仕組みづくりを進めています。

耐震性のある家づくり

完成イメージ図

安定した仕事がないこの地で、村の人々は家の再建費用を用意できない状況です。また、安全な住宅を建てられる技術者もいません。ADRAでは、この地域で被災した方々が耐震性があり、洪水にも砂嵐にも耐えられる家に住めるよう、資材の購入と技術指導を支援します。

共に家づくりに取り組み、村の人々が自らの手で、災害に強い自分たちの家を建てられるように寄り添います。

将来はヘラートに住む人たちを支えられる人になりたい

地震が起きたときは、友達と家の近くで遊んでいた。そしたら地面が揺れ出して…。地震が起きてすぐお兄さんが出稼ぎ先のイランから戻ってきて、今は一緒に暮らしている。僕も家族のために、砂漠で薪を取ってきたり、羊の世話をしたりしているんだ。

将来は学校の先生になって、字が読めない子どもたちをなくしたい。僕の村には、子どもの頃に勉強できなかった人が



エザトゥラーくん 10歳

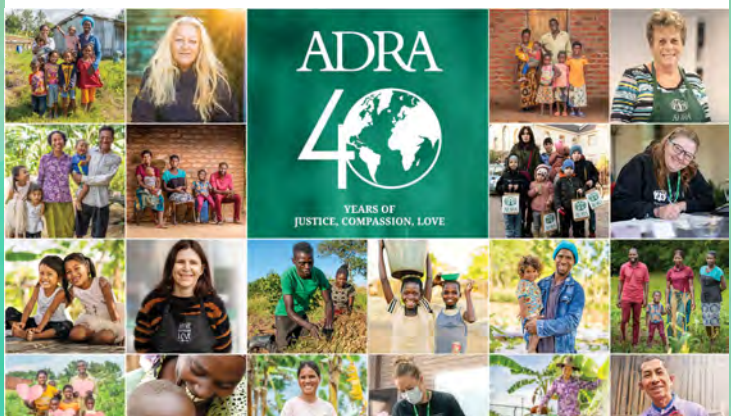
たくさんいるよ。それで、字が読めない人が多いんだ。こういう問題を将来なくしていきたい。

ヘラートに住む人たちを支えられる人に、将来なりたいんだ。

ADRAとは

ADRAは世界約120カ国に支部をもつ世界最大規模の国際NGOです。災害や戦争の被災地や開発途上国にて、人種・宗教・政治等の区別なく、一人ひとりに寄り添った活動に取り組んでいます。

子どもの生存率が世界でもっとも低い国アフガニスタンでは2002年より活動しており、支援を必要とする人々への食料や物資の配付のほか、女兒の教育支援に取り組んできました。



ご支援のお願い

アフガニスタンへの支援は年々減少しています。そんな中、ADRAのネットワークを通して日本から支援を届けられることは、現地の人々にとって大きな希望につながります。

まずは家の再建と防災教育を進め、地震によって被災した村の復興をサポートできるよう、温かいご支援をお願いいたします。

クレジット決済または銀行振り込みの方はQRからお手続きください



郵便振替をご利用の方は、手数料が免除になる青色の振込用紙をご利用ください

加入者名：(特活) ADRA Japan
口座番号：00140-0-697950
手数料：「免」とお書きください
備考：「アフガニスタン村再建」とご記入ください

ADRA Japanへのご寄付は寄付金控除の対象となります。例えば、10,000円を寄付すると所得税のうち3,200円〔(寄付金合計額-2,000円)×40%〕が返ってきます。

アフガニスタンの子どもたちの夢



B面 子どもたちの夢 応援編



将来は医者になれるように、家族を支えらるるようになりたい



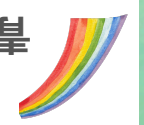
地震がきたとき、僕は家にいたんだ。倒れてきた壁に足がはさまれて折れてしまって、今も治らない。だから友だちと一緒に遊べない。他の子みたいに走ったり歩いたりできないから。自分の足で歩いてきた頃に、戻れるなら戻りたい。

将来は医者になりたいな。今はお父さんがイランに出稼ぎに行くと家族を養ってくれているけど、将来は僕が家族を支えたいって思っている。それに僕が暮らすこの村の貧しい人たちを助けてほしい。



モハマドくん 10歳

学校の先生になりたいから、青空教室で勉強できるのは嬉しい



私は家族と住んでいるんですけど、お父さんが亡くなってしまいました。お兄さんが一輪車で荷物運びの仕事をして、お金を稼いでくれていて、私は薪を集めています。

地震が起きたとき、私は外で家畜の世話をしていました。とても大きな揺れで怖かったのを覚えています。

学校の校舎は壊れてしまい、今はテントや青空教室で勉強することが多くなりました。

将来、私は学校の先生になって家族を支えたいです。それに地域の明るい未来にも貢献したいです。



ハーヤスちゃん 11歳

たくさん勉強してエンジニアになりたい



前は自分が勉強できるなんて夢みだと思っていたけど、青空教室に通い始めてから将来が楽しみになった。たくさん勉強して、エンジニアになって、ヘラートの人のためになんか役に立つことができるんだ。

怖いことはあっても、みんな前向きに愛わっていてもらいたいって気持ちがあるからがんばってるんだ。

この夢のために努力して、地震にあった人たちの希望になれたらいいな。究極の目標はみんなのために良い未来を作ることなんだ。



友達とサッカーを楽しむニサール君 (左から3番目)

たくさん勉強してエンジニアになりたい

僕は9人家族で、両親と3人の兄弟、4人の姉妹がいるんだ。地震があったとき、僕は庭で遊んでいたんだけど、急に地面が激しく揺れて、ずっと怖い思いで過ごした大変な一日だった。揺れが収まってから、家族と家畜みんな一つのテントに避難したんだ。

今住んでいるのは、ヘラート市の人が建てた避難シェルターなんだけど、雨季になると洪水で住めなくなっちゃうんだ。

僕は長男だから、父さんがいなるときは家族の大黒柱としてしゃりなきやと思ってる。だから、学校が終わったら砂漠で薪を拾ったり、遠くの水場まで水を汲みに行った



ニサールくん 12歳